



①ソーラーコレクター

# 八剣山通信

2015 (平成 27) 年  
10月31日 (土)

## ドイツ ESD 活動でソーラーキッチン を体験しました！



④ソーラードライヤーを作るため構造の検討をする隊員



手作りソーラーキッチンを陽射しの方に向け設置します



ソーラードライヤーで作ったドライフルーツ



20分で湯が沸く②ソーラーキッチン



簡単にソーラーキッチンが自作できます



紅茶と一緒にハーブティーで



断熱ガラスを使った③ソーラーオーブン



災害時の給湯に活用できます

ESD (Education for Sustainable Development) とは「持続可能な開発 (発展) のための教育」と訳されます。自分に身近なところから持続可能な社会づくりに役立つ知識や技能、生活態度、価値観を身につけ実践できる (think globally, act locally) ようにする、模擬訓練の場です。

札幌市環境保全アドバイザーのピアンカ隊員に、太陽エネルギーを活用したエコ調理器具を紹介していただきました。①ソーラーコレクターはヒートポンプ方式の温水器で、効率よく太陽熱を集積しお湯にして、炊事に使っています。②ソーラーキッチン はアフリカで NGO が普及をはかる程、実用的な調理器具。③ソーラーオーブンは内部が 150℃ になり、ゆっくり火が通ります。発見隊が目にしたのが④ソーラー(フード)ドライヤー、これで乾燥させたイチゴやサクランボを食べると風味が良く、濃縮された味がしました。早速お茶に入れハーブティーにして皆で楽しみました。地域の売り物にできそうです。そして自分たちでもソーラーキッチンを2機、作ってみました。ドイツの取り組みを見て、北海道では自然エネルギーをもっと活用してエネルギーの無駄もなくし、スローで豊かな生活スタイルとして地域から発信したいな、と思った勉強会でした。